

| 質問者 福原議員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 答弁者 | 村長 | 福祉課 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----|-----|
| <p>上札内放課後児童クラブについて</p> <p>現在、上札内放課後児童クラブの運営を委託されている「フロンティア会議」が本年度いっぱいでの撤退の意向であることを伺っております。昨年春より、本来であれば昨年度末での撤退であったところ、12月のPTAとの意見交換会協議を経て、1年間の延長をお願いしたところであり、更なる延長は難しいだろうと村も認識されているものと推察するところでもあります。</p> <p>このことを受けて本年6月、2回の上札内小学校保護者（通学家庭）との意見交換会を行っておりますが、未だ合意形成に至っておらず、教育委員会で行っている山村留学の継続意向聴取調査、来年度の留学募集などにも影響がでているところでもあります。</p> <p>未だ協議中の事案であることは承知をしておりますが、いわゆる学童は、学校とともに地域住民や子育て世代にとって重要な社会基盤の一つであることから、以下、3点についてお伺い致します。</p> <p>①現在までの協議の経過と進捗状況について<br/> ②保護者や地域住民などから上がっている要望について<br/> ③村として提案している対応策などについて</p> |     |    |     |
| <p>上札内放課後児童クラブについては現在、令和6年度からの在り方に関して上札内小学校の保護者の皆さまと協議を進めているところです。今回、3つの項目のご質問ですが、それぞれの内容が密接に繋がっていることから一体的に答弁させていただきます。</p> <p>この間の経過については、まず令和4年5月に事業委託先である「フロンティア会議」から同年度末で事業受託を終了したい旨の意向を受け、役場内部において学童の利用状況等を勘案しながら、後継の委託先を含めて長期的な視点で方向性を協議しました。放課後児童クラブは中札内児童館1カ所で運営し、上札内交流館においては、放課後を館内で過ごす子どもたちの見守りスタッフを配置することを基本的な方針といたしました。</p> <p>そのように判断した理由は大きく2つあります。一つには、超少子高齢化を伴い人口減少が進むわが国において、今</p>                                                                                                                       |     |    |     |

後2か所の放課後児童クラブを安定的に継続する上では、保育士等有資格者の指導員の確保が難しくなると予想されること。もう一つは、上札内小学校と中札内小学校の同学年および異学年の児童が、一つの放課後児童クラブの利用を通して交流しやすい環境を整えることで、中学校に進学した際などの円滑な人間関係構築に寄与するものと考えたからです。

10月から、上札内小学校児童の保護者を対象としたアンケートの実施や、担当する福祉課とPTA役員の方との話し合いの場を2度設けさせていただきました。ただ、議論が熟すには時間的な制約があり、フロンティア会議に令和5年度に限り放課後児童クラブの運営継続を依頼し、了承いただきました。今年度の継続協議には私も参加し、6月中旬に保護者の方々と2度意見を交換させていただいております。

この間、保護者や地域住民の皆さんからいただいたご意見、ご要望は様々ですが、7月25日にPTA保護者から村に対し「上札内放課後児童クラブの存続等に関する要望書」が提出されておりますので、その要旨を申し上げます。第一には上札内放課後児童クラブの存続、合わせて、村が提案している見守りスタッフ配置の具体提示を求める内容です。

この要望書に対して村は、放課後児童クラブは令和6年度から中札内児童館1カ所で運営すること、上札内交流館については日曜・祝日等を除く午後、子どもたちの自主的な活動を尊重しつつ、状況に応じて声掛けやサポートを行い、突発的なアクシデントに対応する役割を持つ「見守りスタッフ」を配置し、放課後の児童の居場所の一つとして利用できる体制づくりを進める考えを示させていただきました。その回答書には記載しておりませんが、放課後児童クラブが1カ所となることの不便を出来る限り解消できるよう、スクールバスの通常運行を活用した上札内小学校を発着とする送迎体制の確保も検討しております。

協議中の案件で流動的な要素はありますが、今後も保護者

等へご理解いただくために努力する所存です。